

卅六編下

葛吉板

國貞画

狂題聖女阿彌

仙果

犬乃

卅六編上





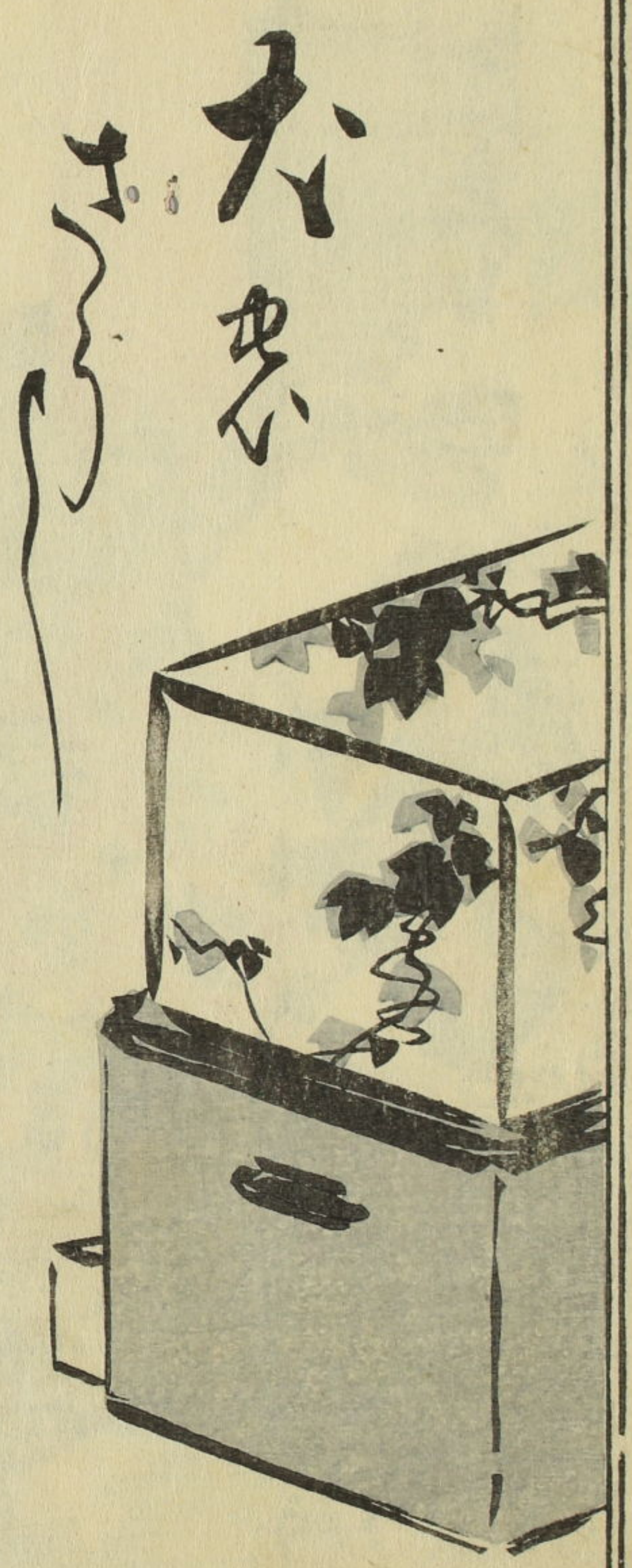


仙果縁
因又虫

三十一と編

上の虫

紅夷半板



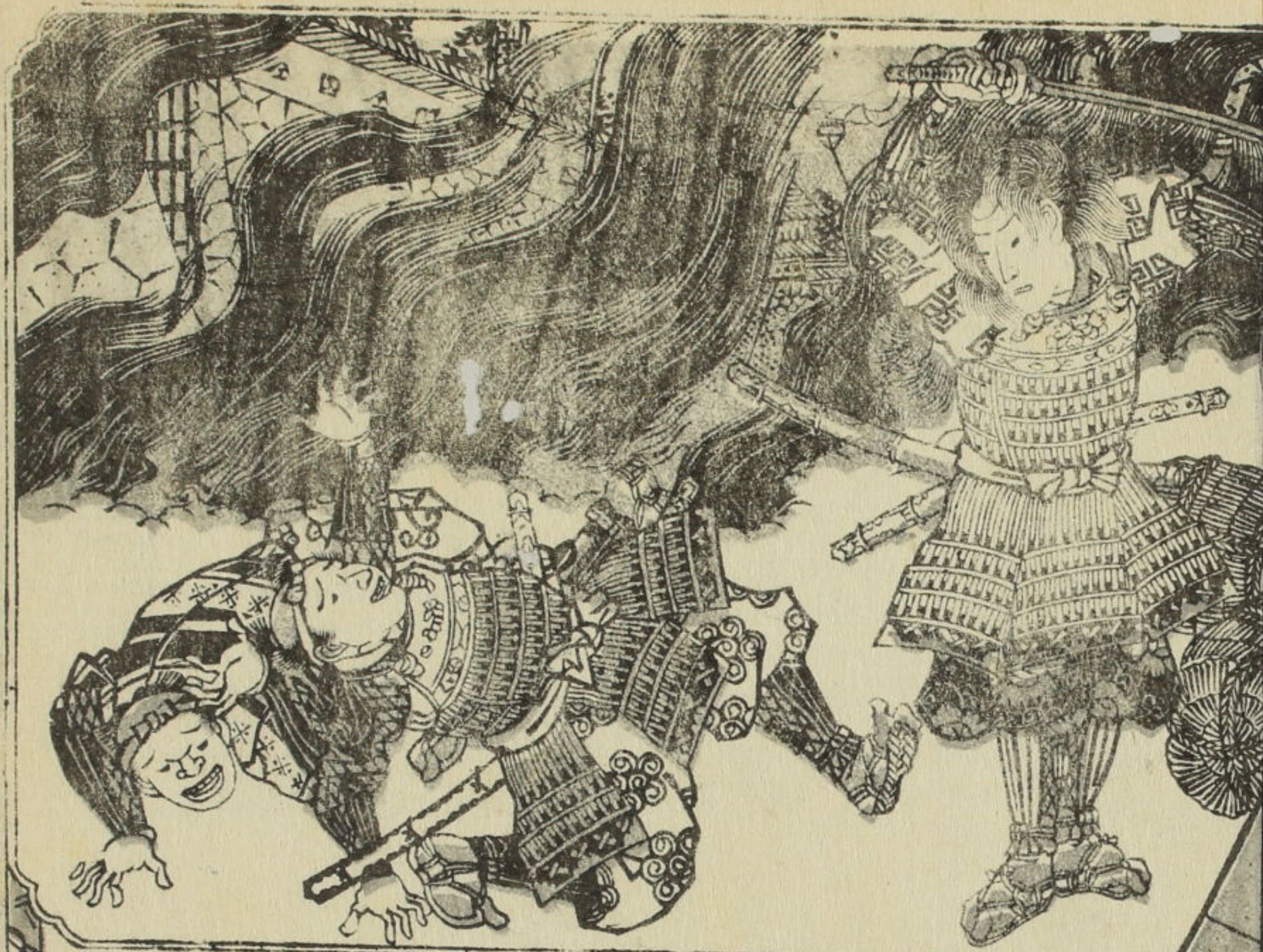
往古西蕃晋の靈公狗と好して狗圈を曲沃といふ所禁さ狗小
 綉衣をきせり屠岸賈と云壁人が公を悦を爲爲狗小奪ひひりたる
 が一夕狐與殿小入夫人襄氏を敬馬かかけけが夫人怒て怒かくと告る
 故小狗を縦縦く狐とささする小狐逃て狗の功功ううず屠岸賈
 むむる小他の狐をりりあて殺し公小呈しと狗のささううと披露
 せ公大悦び大夫を饗す器をりて狗小ちちるるささううとぞ
 鈔録物鈔録物のよよ賣賣ると手柄手柄のやう小賞賞らるら此愛犬愛犬の大夫の狙狙小對對ひ
 ううけんけんとと嬉嬉ししれれる腋下腋下より汗流汗流きてりりくぞありける

新彫

笠亭仙果記



九 十一 六



犬塚信乃管領城焚

犬塚



忠臣
河鯉
守如



賢夫人
要
御前

大の三



あはれつとてかみひらきふしむる
 うまむしとてかみひらきふしむる
 かねとてかみひらきふしむる
 たまひのとも かなひのとも
 かんづかひのとも かんづかひのとも
 あせつとてかみひらきふしむる
 あはれつとてかみひらきふしむる
 うまむしとてかみひらきふしむる
 かねとてかみひらきふしむる



あはれつとてかみひらきふしむる
 うまむしとてかみひらきふしむる
 かねとてかみひらきふしむる
 たまひのとも かなひのとも
 かんづかひのとも かんづかひのとも
 あせつとてかみひらきふしむる
 あはれつとてかみひらきふしむる
 うまむしとてかみひらきふしむる
 かねとてかみひらきふしむる



一斗田ひろく
 さくら香 一包
 さくら香 二包
 さくら香 三包
 さくら香 四包
 さくら香 五包
 さくら香 六包
 さくら香 七包
 さくら香 八包
 さくら香 九包
 さくら香 十包
 さくら香 十一包
 さくら香 十二包
 さくら香 十三包
 さくら香 十四包
 さくら香 十五包
 さくら香 十六包
 さくら香 十七包
 さくら香 十八包
 さくら香 十九包
 さくら香 二十包
 さくら香 二十一包
 さくら香 二十二包
 さくら香 二十三包
 さくら香 二十四包
 さくら香 二十五包
 さくら香 二十六包
 さくら香 二十七包
 さくら香 二十八包
 さくら香 二十九包
 さくら香 三十包
 さくら香 三十一包
 さくら香 三十二包
 さくら香 三十三包
 さくら香 三十四包
 さくら香 三十五包
 さくら香 三十六包
 さくら香 三十七包
 さくら香 三十八包
 さくら香 三十九包
 さくら香 四十包
 さくら香 四十一包
 さくら香 四十二包
 さくら香 四十三包
 さくら香 四十四包
 さくら香 四十五包
 さくら香 四十六包
 さくら香 四十七包
 さくら香 四十八包
 さくら香 四十九包
 さくら香 五十包

笠亭仙果抄録
 梅蝶樓國貞畫

孝子ハ志度六
 兇子ハ魔度六

童謡妙々車

三編 柳下亭種員作
 四編 梅蝶樓國貞画

本家
 實母散

さんぜんさんご婦人ちのとり一切の妙薬

中橋南傳馬町二丁目東六
 千葉堂孝輔製

御免疝積湯
 せんきの妙薬

御用薬所
 信州上田東山堂製

各款えりあがる
 安るお茶のしりあがる
 一包 四十八錠
 廿四錠

地本草紙問屋

江戸南傳馬町二丁目

葛屋吉藏







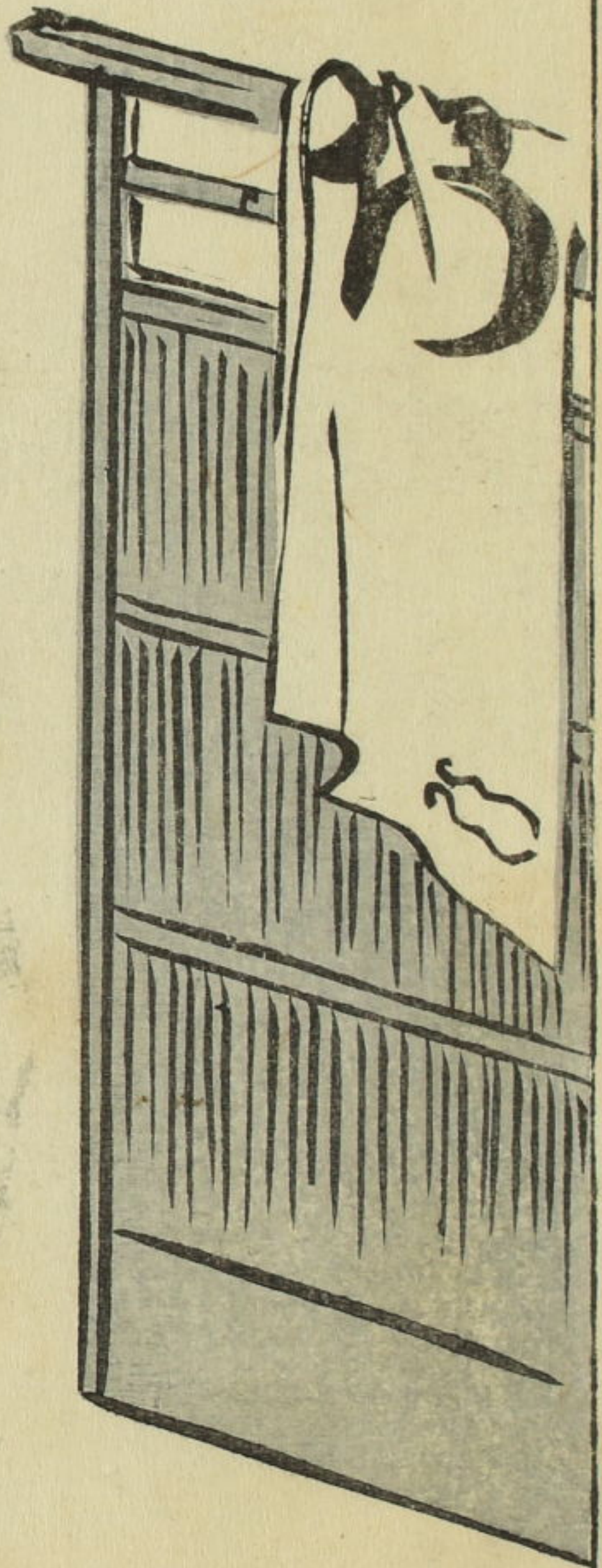


仙系 伏
玉貞 巻

本 の る あ

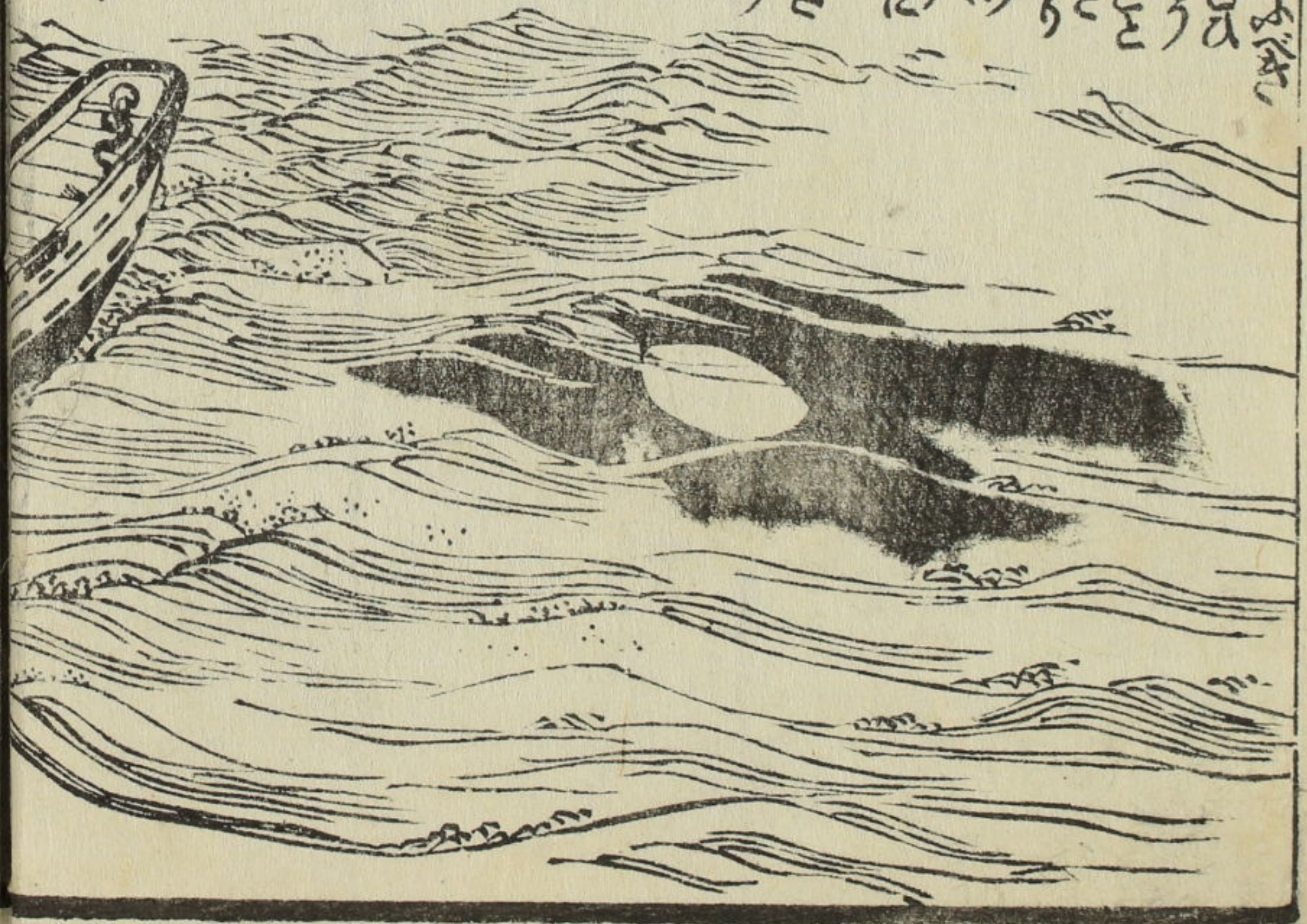
三十一 編

の 巻





[注] 此の如くあるとせしむるは
 此の如くあるとせしむるは
 此の如くあるとせしむるは
 此の如くあるとせしむるは
 此の如くあるとせしむるは
 此の如くあるとせしむるは
 此の如くあるとせしむるは
 此の如くあるとせしむるは
 此の如くあるとせしむるは
 此の如くあるとせしむるは



九十人おあまればりとのつそののを
 エ下人コラうちてけのたまたけと
 のそののておあまればりとのつ
 のそののておあまればりとのつ
 のそののておあまればりとのつ

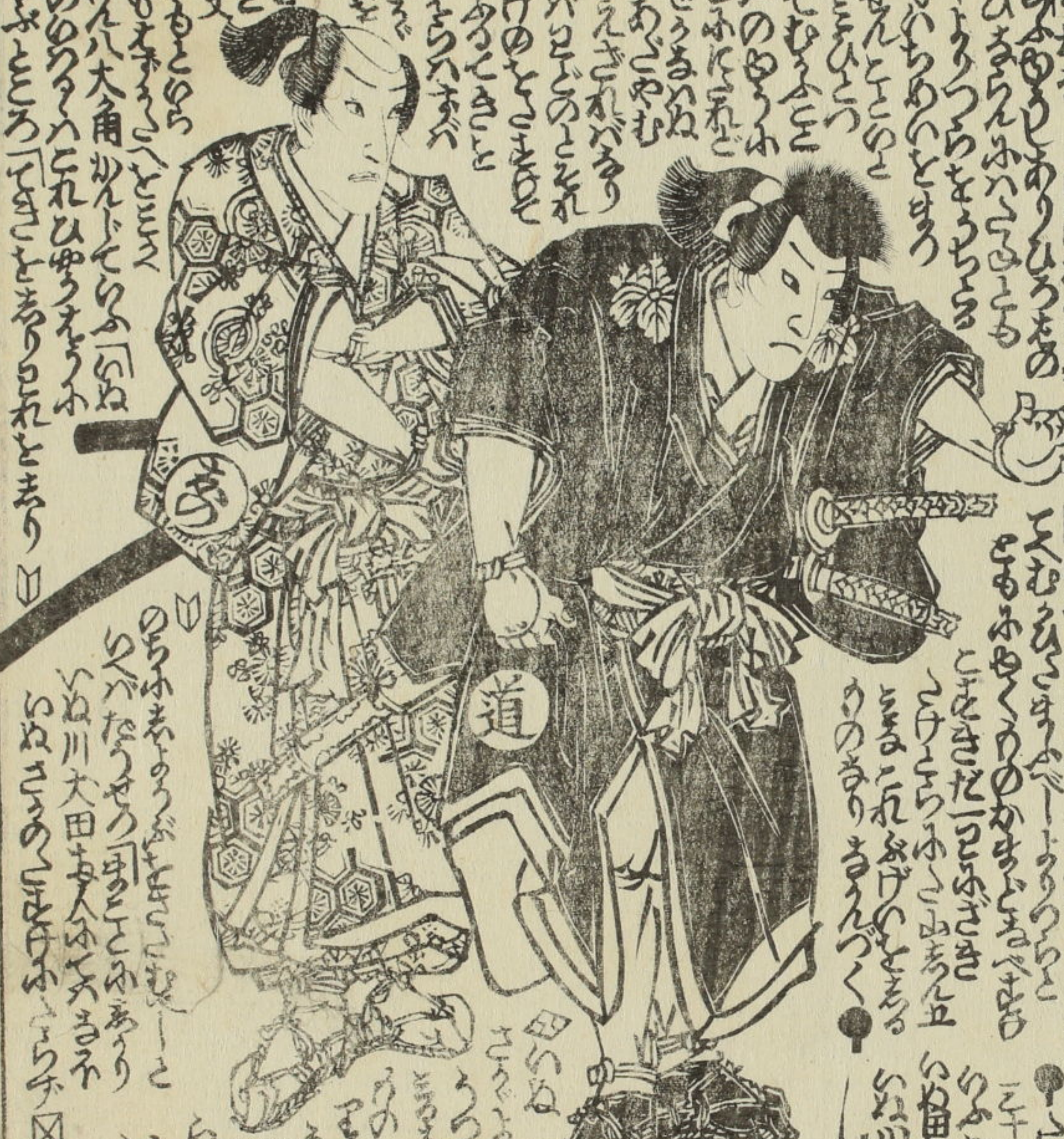
此の如くあるとせしむるは
 此の如くあるとせしむるは
 此の如くあるとせしむるは
 此の如くあるとせしむるは
 此の如くあるとせしむるは
 此の如くあるとせしむるは
 此の如くあるとせしむるは
 此の如くあるとせしむるは
 此の如くあるとせしむるは



つき一あさうちとらまをむ
このその故主をうみ
思ふれどもたのびにおあむ
うちまにせむとここのみ
たのうたてまつりふかきある
べとあひかりさざりれはま
くみらしらしきさくしもの
ためふとていぢりしをうまは
なぐいぬ山ふちちりせあめ
さかやつたてまつりこのせうち
あふちりつりりか嘉吉おろろ
みとおくんとあめりめりめり
かりあつらぬきうあまはげ
まよりのおるまをいゆとも方
統のちありともかきさつり
ぞうたうのちしこ人あむのみ
あさうち下人かともあひ百人
あさうちそれむはひりあてき
うさるやあやまらうとれが
けのせやうまはげとるせむ
さきあやせんとらうてくの
さうまはげ人かきさつりあつち
たまえまらこ十二人あてり
ようこさく女立やあてりま
やまらうてりいぬきさつり
たり大記のいぬきさつり
あさうちあやまらうてり
とらうちあやまらうてり



このきあさうちとらまをむ
このその故主をうみ
思ふれどもたのびにおあむ
うちまにせむとここのみ
たのうたてまつりふかきある
べとあひかりさざりれはま
くみらしらしきさくしもの
ためふとていぢりしをうまは
なぐいぬ山ふちちりせあめ
さかやつたてまつりこのせうち
あふちりつりりか嘉吉おろろ
みとおくんとあめりめりめり
かりあつらぬきうあまはげ
まよりのおるまをいゆとも方
統のちありともかきさつり
ぞうたうのちしこ人あむのみ
あさうち下人かともあひ百人
あさうちそれむはひりあてき
うさるやあやまらうとれが
けのせやうまはげとるせむ
さきあやせんとらうてくの
さうまはげ人かきさつりあつち
たまえまらこ十二人あてり
ようこさく女立やあてりま
やまらうてりいぬきさつり
たり大記のいぬきさつり
あさうちあやまらうてり
とらうちあやまらうてり



あさうちあやまらうてり
とらうちあやまらうてり
あさうちあやまらうてり
とらうちあやまらうてり
あさうちあやまらうてり
とらうちあやまらうてり



あつし
れ正月
あつし
ら手ふん

あつし
れ正月
あつし
ら手ふん

あつし
れ正月
あつし
ら手ふん



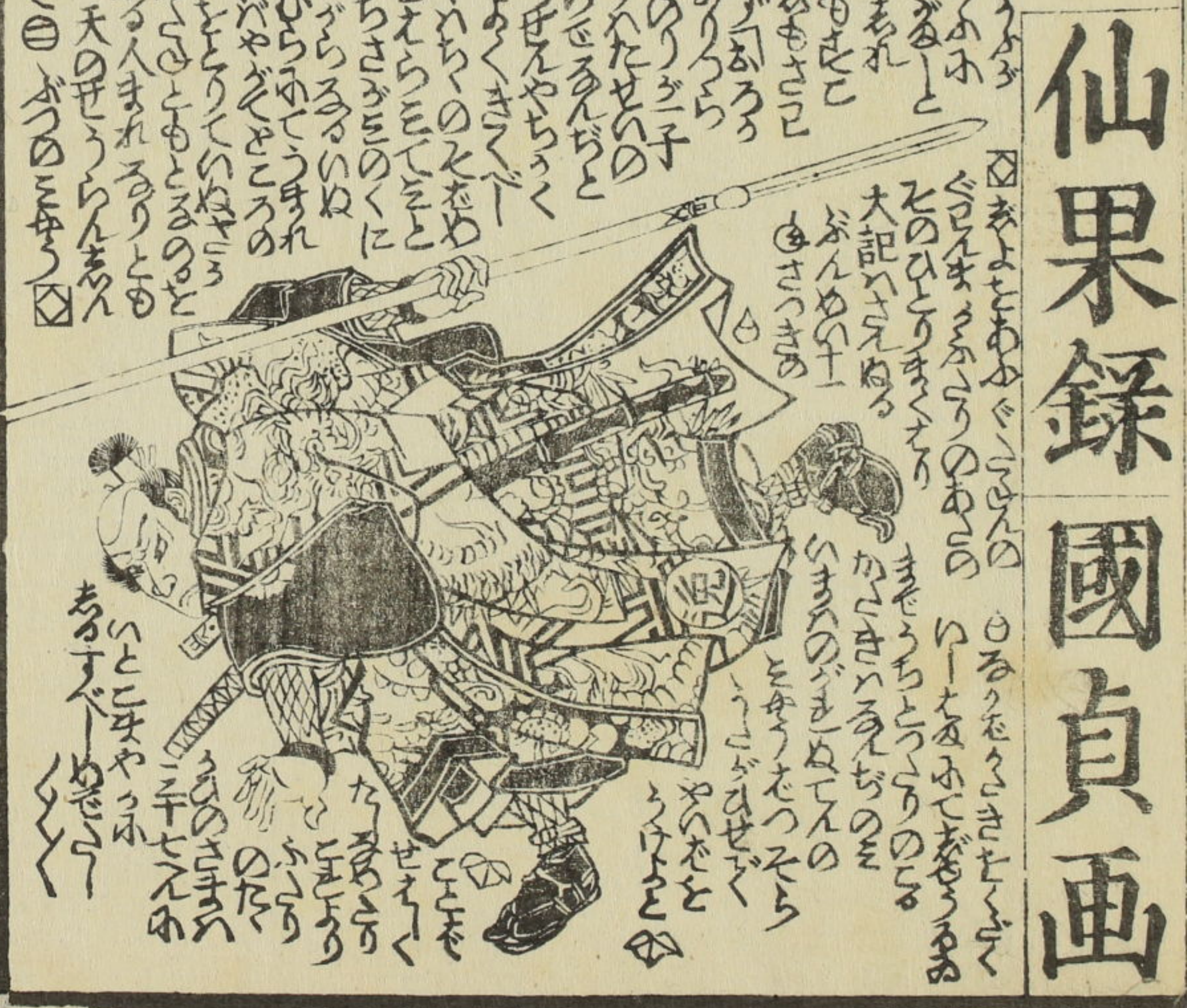
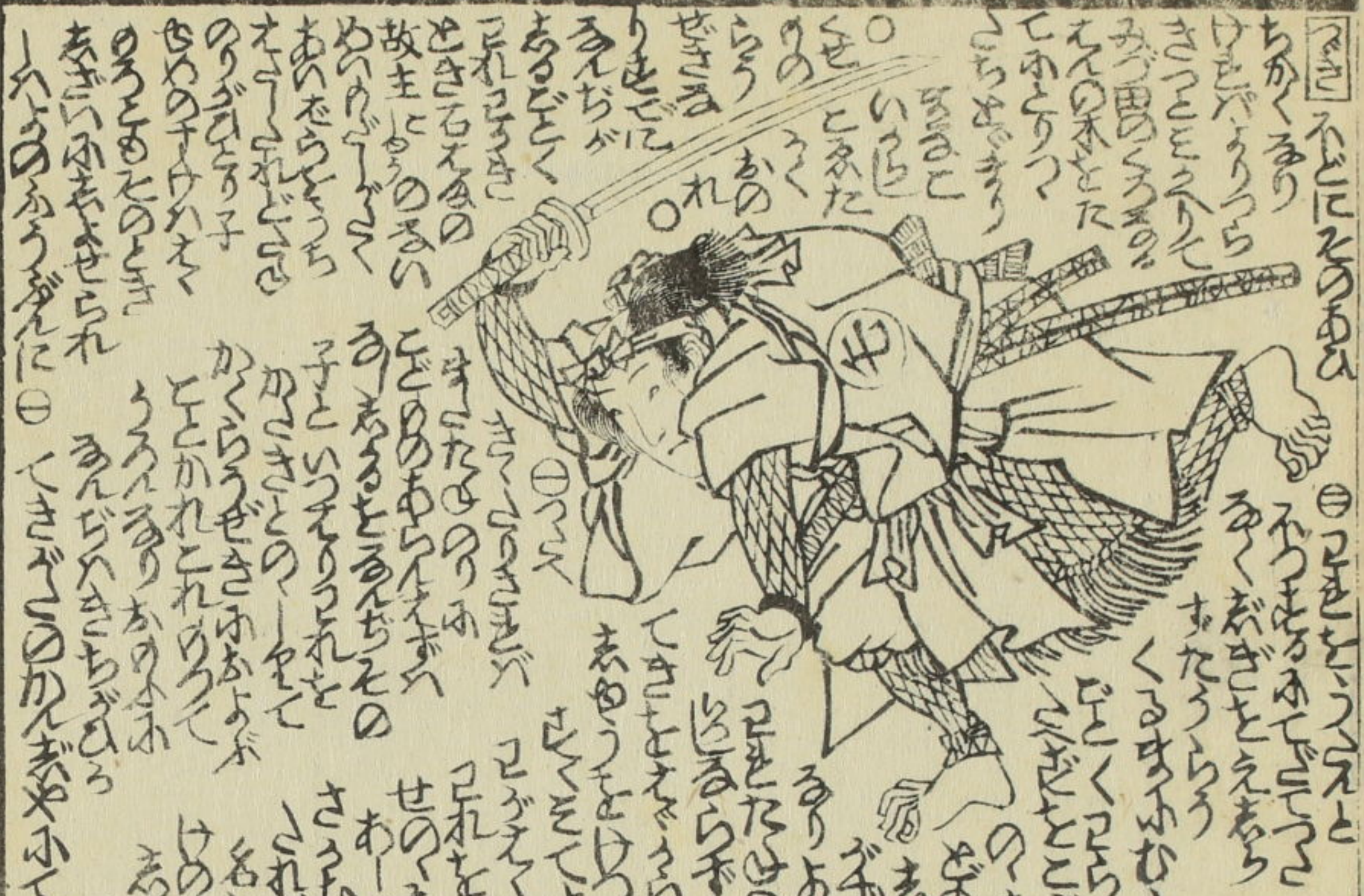
あつし
れ正月
あつし
ら手ふん

あつし
れ正月
あつし
ら手ふん

あつし
れ正月
あつし
ら手ふん

安政三年丙辰原陽春開板目標

仙果録國貞画



大晦日曙草紙 廿二編 京山作

新當織帶屋綴合 初二編 西馬録

八犬傳大弁紙 廿六編 仙果録

八重撫子累物語 四編 仙果録

俠客傳仲模略説 十三編 西馬譯

義経以佐雄軍記全 春馬譯

松浦船水柱婦言 五編 仙果録

八幡太郎智勇譚全 同 譯

花菱笠梅雅物語 同 西馬譯

名高千穂譚實録 初種清録

古今草紙合 十編 仙果作

間屋七島屋吉藏板

鹽屋正

草紙

